

まちづくりの方針（案）

第3回

JR行田駅前広場周辺再整備基本計画検討委員会

平成26年12月19日

目次

1. まちづくりにおける基本方針

2. まちづくりの方針（案）

2-1 快適な空間形成

2-2 交流空間形成

2-3 にぎわいのある空間形成

2-4 まち並み形成

2-5 安全安心な空間形成

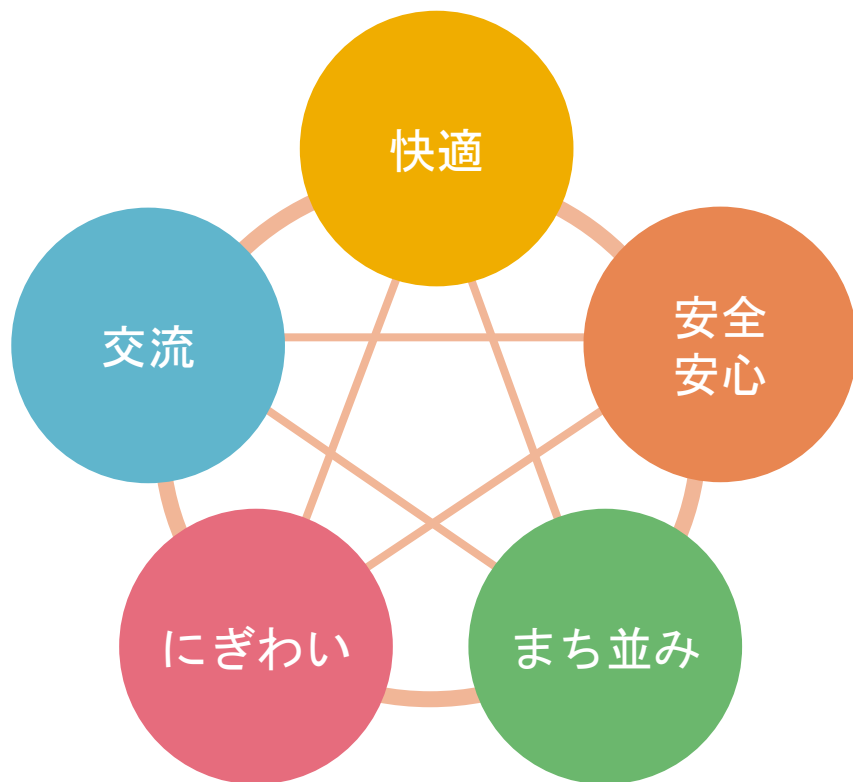
3. ゾーニング

1. まちづくりにおける基本方針

《コンセプト》

「駅」でわくわく交流拠点 ここからはじまる 行田じゅうまん(充滿・十万・10万)

行田市の南の玄関口であるJR行田駅の利便性を活かし、地域住民の日常生活において快適で住みやすいまちづくりを行うとともに、通勤通学や観光などによる来訪者が行田らしさを感じ、行き来しやすいネットワーク形成を行う



要素	
快適	・地域住民の日常生活における利便性向上 ・来訪者の移動における利便性向上
交流	・行田市の南の玄関口としての交通結節機能の充実 ・地域内外へのネットワーク形成
にぎわい	・地域住民や来訪者が行き交う憩いの場を形成
まち並み	・緑豊かでゆとりのある住宅地 ・来訪者が行田らしさを感じるまち並み
安全安心	・誰もが歩いて暮らせる道路空間形成 ・防犯・防災に配慮したまちづくり

2. まちづくりの方針（案）

2-1 快適な空間形成



- ・地域住民の日常生活における利便性向上
- ・来訪者の移動における利便性向上


都 市 MP 方 向 性	<ul style="list-style-type: none"> ●行政サービス施設の充実 ●子育て支援施設の整備促進 	●商業施設の整備促進	●地域公共交通の更なる強化																																																					
現状・問題点	<p>《現状》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所に住民票申請受付ボックスが設置されているが、年間利用者数は年に数名程度 <p>《地域住民の意向》</p> <p>【JR行田駅前広場及び周辺を整備する上で重視すべきこと】</p> <table border="1"> <caption>行政サービス施設と子育て支援施設の意向</caption> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>必要</th> <th>どちらともいえない</th> <th>不必要</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住民票の発行などの行政サービス施設</td> <td>39%</td> <td>32%</td> <td>12%</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>託児所・保育所などの子育て支援施設</td> <td>36%</td> <td>38%</td> <td>6%</td> <td>20%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=193</p> <p>《WSのニーズ》</p> <p>行政サービス施設として以下の機能があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所機能(住民票・印鑑証明等) <ul style="list-style-type: none"> ※近隣市町分を含む ・子育て支援施設(保育園) ・図書館(小規模) ・生涯学習施設 ・コミュニティセンター(自治会館) 	施設	必要	どちらともいえない	不必要	無回答	住民票の発行などの行政サービス施設	39%	32%	12%	16%	託児所・保育所などの子育て支援施設	36%	38%	6%	20%	<p>《現状》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場から県道行田停車場線沿線は商業系用途地域に指定され、クリニックや学習塾はあるが、小売店舗や飲食店などは少ない ・空地や駐車場などの低未利用地が多い <p>《地域住民の意向》</p> <p>【JR行田駅前広場及び周辺を整備する上で重視すべきこと】</p> <table border="1"> <caption>商業施設の意向</caption> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>必要</th> <th>どちらともいえない</th> <th>不必要</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>銀行</td> <td>54%</td> <td>25%</td> <td>6%</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>郵便局</td> <td>48%</td> <td>27%</td> <td>6%</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>コンビニ・書店などの小売店舗</td> <td>60%</td> <td>21%</td> <td>4%</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>総合スーパーなどの大型店舗</td> <td>44%</td> <td>23%</td> <td>20%</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>飲食店</td> <td>55%</td> <td>27%</td> <td>5%</td> <td>12%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=193</p> <p>《WSのニーズ》</p> <p>商業サービス施設として以下のような店舗があると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストア ・土産屋 ・飲食店(居酒屋・喫茶店・ファミリーレストラン) 	施設	必要	どちらともいえない	不必要	無回答	銀行	54%	25%	6%	15%	郵便局	48%	27%	6%	19%	コンビニ・書店などの小売店舗	60%	21%	4%	15%	総合スーパーなどの大型店舗	44%	23%	20%	13%	飲食店	55%	27%	5%	12%	<p>《現状》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バス(南大通り線、西循環、観光拠点循環)が運行 <p>《駅利用者の意向》</p> <p>【バスやタクシーの利用について】</p> <table border="1"> <caption>バスやタクシーの利用意向</caption> <thead> <tr> <th>意向</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行便数が少ない</td> <td>84%</td> </tr> <tr> <td>目的地や住んでいる地域への運行がない</td> <td>41%</td> </tr> <tr> <td>タクシーの利用可能な台数が少ない</td> <td>29%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=184</p> <p>《WSのニーズ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの運行便数、経路が増加すると良い (ものづくり大学、観光地間を結ぶ経路等) ・タクシーの待機車両が少ない 	意向	割合	運行便数が少ない	84%	目的地や住んでいる地域への運行がない	41%	タクシーの利用可能な台数が少ない	29%
施設	必要	どちらともいえない	不必要	無回答																																																				
住民票の発行などの行政サービス施設	39%	32%	12%	16%																																																				
託児所・保育所などの子育て支援施設	36%	38%	6%	20%																																																				
施設	必要	どちらともいえない	不必要	無回答																																																				
銀行	54%	25%	6%	15%																																																				
郵便局	48%	27%	6%	19%																																																				
コンビニ・書店などの小売店舗	60%	21%	4%	15%																																																				
総合スーパーなどの大型店舗	44%	23%	20%	13%																																																				
飲食店	55%	27%	5%	12%																																																				
意向	割合																																																							
運行便数が少ない	84%																																																							
目的地や住んでいる地域への運行がない	41%																																																							
タクシーの利用可能な台数が少ない	29%																																																							
方針	<ul style="list-style-type: none"> ●行政サービス機能の利便性向上 <p>観光案内所に設置されている住民票発行等に加え、地域住民が集うコミュニティ機能(自治会館や生涯学習施設等)や子育て支援機能等の機能強化を行い、行政サービスの利便性向上を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の賑わい創出、利便性向上 <p>駅前広場周辺や県道行田停車場線沿線の空地や低未利用地の活用とともに、商業施設・金融関連施設の誘致を行い、地域の賑わい創出、利便性向上を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●バス・タクシーの利便性向上 <p>JR行田駅の利用者ニーズを踏まえたバス運行形態の見直しを行う</p> <p>また、タクシーの待機車両増加等による利便性向上を図る</p>																																																					

2. まちづくりの方針（案）

2-2 交流空間形成

交流

- ・行田市の南の玄関口としての交通結節機能の充実
- ・地域内外へのネットワーク形成

方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●駅前広場の再整備 ●交通結節点としての都市基盤整備 ●駐車場・駐輪場の整備促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光レンタサイクルの更なる充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●市中心部との連続性の強化 																		
現状・問題点	<p>《現状》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場内の車両走行空間を横断する歩行者が多い ・駅前広場の送迎利用が多い時には乗車・降車・通過車両が混在 ・駅周辺には観光案内所、観光レンタサイクル、交番、駐輪場、駐車場等の都市基盤が整備されている ・駅前広場前の市有地に時間貸し駐車場 ・駅周辺には月極駐車場が多数 ・岩崎電気側、熊谷市境に市営駐輪場 <p>《観光来訪者の意向》</p> <p>【行田での交通手段】 ※観光案内所利用者アンケート調査より</p>  <table border="1"> <caption>観光来訪者の交通手段</caption> <thead> <tr> <th>交通手段</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>路線バス</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>市内循環バス</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>自家用車</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>バイク</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>レンタサイクル</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>自転車</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>徒歩</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	交通手段	人数	鉄道	2	路線バス	8	市内循環バス	26	自家用車	0	バイク	0	レンタサイクル	26	自転車	1	徒歩	0	<p>《駅利用者の意向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●駐輪場の整備について 今のままでよい(18%)、利用していないためわからない(34%) 何かしら整備してほしい(駅近くに移設、屋根の設置等)(39%) その他・無回答(9%) ●駐輪場の有料化について 有料化されても利用する(25%)、 屋根等が整備されるのであれば利用する(39%) 屋根等が整備されても利用しない(29%)、無回答(7%) <p>《WSのニーズ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場の歩行者の安全確保が必要 ・自家用車での利便性向上が必要 ・駅周辺に多機能施設があると良い ・駐車場は月極駐車場が時間貸し駐車場として利用できると良い ・駐輪場は狭い、遠い、屋根がない 	<p>《WSのニーズ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行田市街地からの利用を考慮し、駅前広場と県道行田停車場線の接続を改善した方が良い ・区画整理事業が進む鴻巣市北新宿方面からのアクセス性を考慮した方が良い
交通手段	人数																				
鉄道	2																				
路線バス	8																				
市内循環バス	26																				
自家用車	0																				
バイク	0																				
レンタサイクル	26																				
自転車	1																				
徒歩	0																				
方針	<ul style="list-style-type: none"> ●駅前広場の交通処理機能の向上 歩行空間と車両走行空間の動線を明確化し、安全な駅前広場に再整備する 駅利用者の利用形態にあわせた駐車場の整備を促進する また、駐輪場の移設や屋根の整備等により自転車によるJR行田駅の利便性向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ●駅周辺の都市基盤の充実 多機能施設等の整備により、都市基盤の充実を図る ●観光レンタサイクルの利用促進 観光レンタサイクルの更なる利便性向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ●行田市街地や近隣市町とのネットワーク形成 行田市街地や熊谷市、鴻巣市方面からのアクセス性の向上を図る 																		

2. まちづくりの方針（案）

2-3 にぎわいのある空間形成



・地域住民や来訪者が行き交う憩いの場の形成

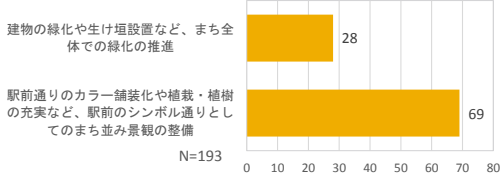
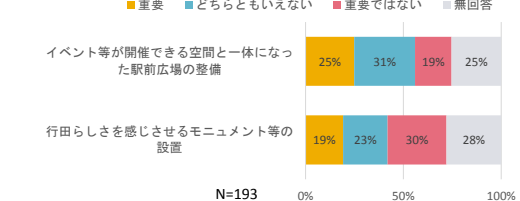
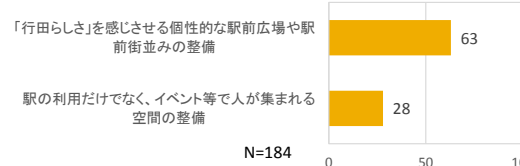
<p>都市MP 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な公園・広場の整備促進 ●地域住民との協働によるリニューアルを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光情報の発信機能の向上 ●観光案内所の充実
<p>現状・問題点</p>	<p>《地域住民の利用状況・意向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壱里山公園の利用者は23%を占め、利用頻度は年に数回が最も多く、利用者構成は「家族」が72%を占める ・移転については、「移転してもよい」が32%であり、公園の充実度としては、遊具や緑が不十分との意見が14%である <p>【壱里山公園の移転について】</p> <p>【公園に必要な機能について】</p> <p>《WSのニーズ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園は必要であるが、現在の場所にある必要はなく、移設を検討し、駅前広場を拡張した方がよい 	<p>《来訪者の利用状況・意向》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所利用者は県外からの利用が多く、古代蓮の里やさきたま古墳公園への観光客が多い ・観光案内所の場所や規模は現状程度で問題ないとされているが、観光施設情報や観光案内地図等の情報充実が求められている <p>【駅・観光案内所において入手したい観光情報】</p> <p>《WSのニーズ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅舎との位置関係が悪く、分かりにくい ・暗い ・休憩施設や土産屋の併設により観光案内所を利用しやすい仕組みをつくると良い
<p>方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの地域住民の憩いの場となる公園整備 <p>多くの地域住民や来訪者が集い、地域コミュニティの形成につながるよう、公園機能の充実を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●来訪者が立ち寄りとなるような観光案内所の機能充実 <p>観光施設情報や観光案内地図等の情報充実を図るとともに、休憩施設や土産販売所の併設等による観光案内所を利用しやすい環境づくりを行う</p>

2. まちづくりの方針（案）

2-4 まち並み形成

まち並み

- ・緑豊かでゆとりのある住宅地
- ・来訪者が行田らしさを感じるまち並み

都市MP 方向性	<p>●生け垣の設置や敷地内緑化の促進</p>	<p>●南の玄関口としてふさわしい景観形成 ●駅前広場の再整備にあわせた緑化</p>
<p>現状・問題点</p>	<p>《現状》 ・県道行田停車場線では植樹帯が整備されている</p> <p>《地域住民の意向》 【まちづくりを進める上で、取り組んで欲しいこと】</p>  <p>建物の緑化や生け垣設置など、まち全体での緑化の推進 28</p> <p>駅前通りのカラー舗装や植栽・植樹の充実など、駅前のシンボル通りとしてのまち並み景観の整備 69</p> <p>N=193</p> <p>《WSのニーズ》 ・維持管理体制づくりを行った上で、植樹帯を整備した方が良い</p>	<p>《現状》 ・植樹帯や時計台、モニュメント(銅像)が設置されている</p> <p>《地域住民の意向》 【JR行田駅前広場及び周辺を整備する上で重視すべきこと】</p>  <p>重要 どちらともいえない 重要ではない 無回答</p> <p>イベント等が開催できる空間と一体になった駅前広場の整備 25% 31% 19% 25%</p> <p>行田らしさを感じさせるモニュメント等の設置 19% 23% 30% 28%</p> <p>N=193</p> <p>《駅利用者の意向》 【JR行田駅前広場及び周辺を整備する上で重視すべきこと】</p>  <p>「行田らしさ」を感じさせる個性的な駅前広場や駅前街並みの整備 63</p> <p>駅の利用だけでなく、イベント等で人が集まれる空間の整備 28</p> <p>N=184</p> <p>《WSのニーズ》 ・行田をイメージできるモニュメントの設置や施設デザインを行うと良い ・駅前広場及び周辺施設において、統一感のある景観形成を行った方が良い ・植樹帯等の設置にあたっては、管理体制を十分に検討して欲しい</p>
	<p>方針</p>	<p>●緑豊かなまち並み形成 建築協定や地区計画により、生け垣の設置や敷地内緑化を促進する また、工業地においては周辺環境との調和を図る</p>

2. まちづくりの方針（案）

2-5 安全安心な空間形成



- ・誰もが歩いて暮らせる道路空間形成
- ・防犯・防災に配慮したまちづくり

都市MP 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザインに基づいた道路整備 ●安全対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害に強いまちをつくる 						
現状・問題点	<p>《現状》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道行田停車場線における一部歩道が未整備 <p>《地域住民の意向》</p> <p>【まちづくりを進める上で、取り組んで欲しいこと】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備内容</th> <th>希望する割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩道の設置・バリアフリー化や街灯の設置など、歩行者に配慮した整備</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>道路や自転車専用道の整備など、交通安全に配慮した整備</td> <td>94</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=193</p> <p>《WSのニーズ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県道行田停車場線における一部歩道を拡幅して欲しい（市道に移管した上で整備できると良い） ・防犯上、周辺歩道に照明等を設置して欲しい 	整備内容	希望する割合 (%)	歩道の設置・バリアフリー化や街灯の設置など、歩行者に配慮した整備	80	道路や自転車専用道の整備など、交通安全に配慮した整備	94	<p>《現状》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象地区は荒川の堤防氾濫時には2m以上の浸水が想定されている地域であるが、避難場所は1km以上離れた泉小学校となっている <p>《WSのニーズ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難場所・拠点を確保した方が良い
整備内容	希望する割合 (%)							
歩道の設置・バリアフリー化や街灯の設置など、歩行者に配慮した整備	80							
道路や自転車専用道の整備など、交通安全に配慮した整備	94							
方針	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが利用しやすい道路整備 交通規制や歩車分離により誰もが利用しやすい道路整備を推進する ●防犯に配慮した道路空間の整備 照明等の適正な設置による防犯機能の強化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害に強いまちづくり 災害発生時の避難場所・拠点整備を推進する 						

3. ゾーニング

【将来地区構想】

★JR行田駅前を核とした拠点形成

JR行田駅前広場の再整備にあわせた複合施設の整備による生活利便機能と交通結節機能を集約・強化することにより、地域住民にも来訪者にも利用しやすい拠点の形成を行う

複合施設の整備による機能の集約

快適

- 生活利便機能の充実
行政サービス機能(住民票発行・図書館・コミュニティセンター)
子育て支援機能(保育所)、
商業機能(コンビニエンスストア、飲食店)等を整備

にぎ
わい

- 観光案内機能の充実
観光案内所・レンタサイクル、物産展、土産屋等を整備

安全
安心

- 災害に強いまちづくり
災害時の拠点機能(オープンスペース)等を整備

駅前広場の再整備による機能強化

交流

- 交通結節点としての機能強化
・駅前広場の交通処理機能の向上
・駐輪場・駐車場の整備
・観光レンタサイクルの利用促進

まち
並み

- 玄関口としての景観形成
・行田をイメージできるようなモニュメント設置
・行田らしい空間形成、緑化

★拠点機能と相乗効果を発揮する周辺まちづくり

JR行田駅前に集約配置する機能と相乗効果を発揮できるよう周辺地域の住環境整備や、拠点までのアクセス性(利便性・安全性)の改善に資するまちづくりを行う

周辺地域の住環境・景観整備

にぎ
わい

- 地域住民の憩い空間の形成
・公園整備による憩いの場の形成

まち
並み

- 緑豊かなまち並み形成
・地区計画等による地区内の景観形成(緑化)
・工業地における周辺環境との調和

安全
安心

- だれもが利用しやすく、安全安心な道路整備
・歩道整備や防犯機能の強化

行田駅前拠点と連携するネットワーク形成

交流

- 行田市街地や近隣市町とのネットワーク形成
・行田市街地や熊谷市、鴻巣市方面からのアクセス性向上

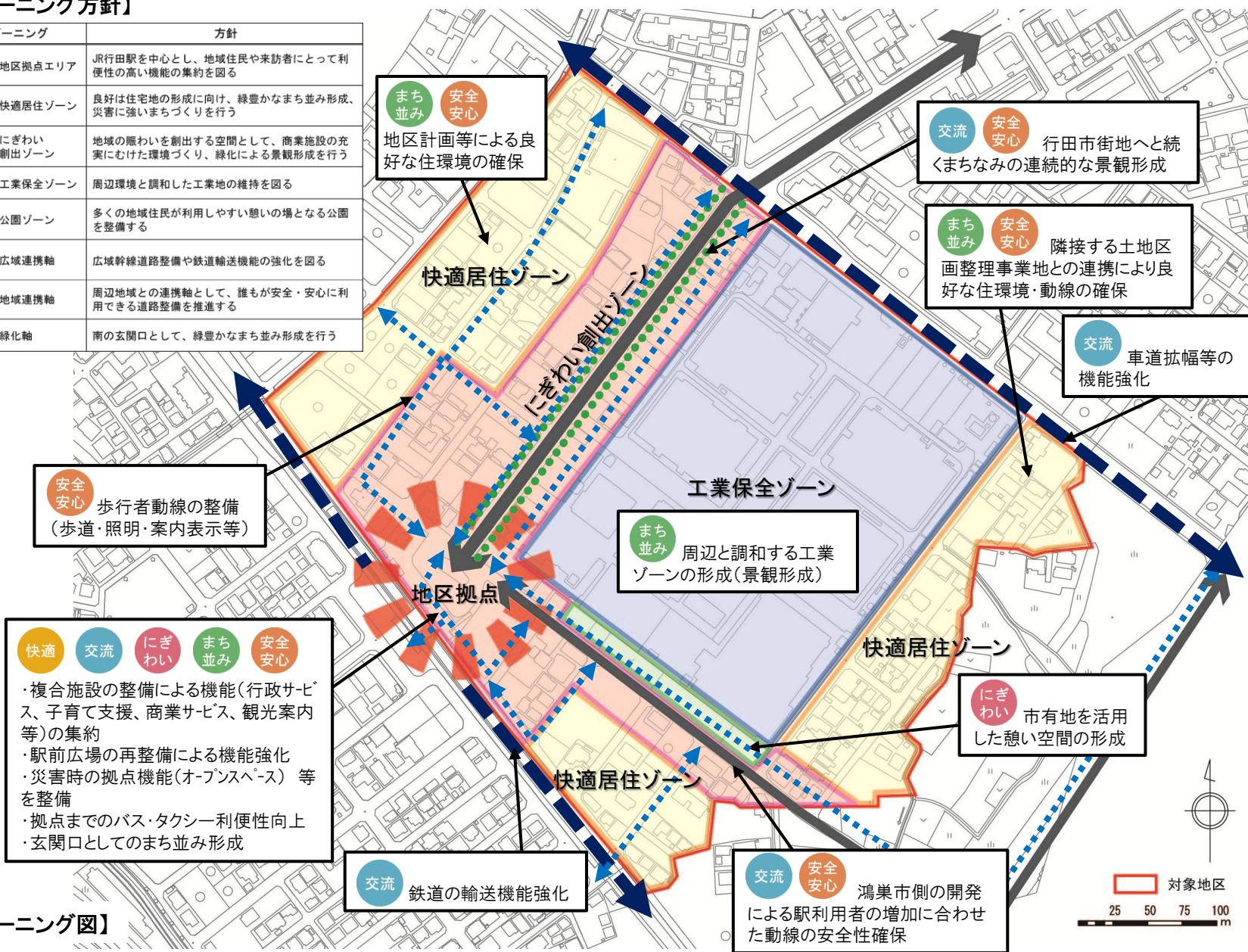
快適

- バス・タクシーの利便性向上
・駅利用者のニーズに合った運行の見直し

3. ゾーニング

【ゾーニング方針】

ゾーニング	方針
地区拠点エリア	JR行田駅を中心とし、地域住民や来訪者にとって利便性の高い機能の集約を図る
快適居住ゾーン	良好は住宅地の形成に向け、緑豊かなまち並み形成、災害に強いまちづくりを行う
にぎわい創出ゾーン	地域の賑わいを創出する空間として、商業施設の充実にもけた環境づくり、緑化による景観形成を行う
工業保全ゾーン	周辺環境と調和した工業地の維持を図る
公園ゾーン	多くの地域住民が利用しやすい憩いの場となる公園を整備する
広域連携軸	広域幹線道路整備や鉄道輸送機能の強化を図る
地域連携軸	周辺地域との連携軸として、誰もが安全・安心に利用できる道路整備を推進する
緑化軸	南の玄関口として、緑豊かなまち並み形成を行う



【ゾーニング図】